

医療体制を維持するために

土・日曜日、祝日や夜間に、急な発熱や激しい頭痛が起きた際、頼りになる存在が救急医療機関です。しかし、救急患者の増加や医療従事者の不足などの影響で、将来この救急医療機関が維持できなくなる可能性があります。

本当に必要なときに救急医療を受けられるよう、私たちにできることを考えてみましょう。

問合先 健康づくり推進課（4西3）であえーる岩見沢3階 ☎ 25-5540



市の救急医療体制

市は、土・日曜日、祝日、夜間など、通常の医療機関が外来診療を行っていない時に、突発的な症状で応急処置が必要な方のため、岩見沢市医師会の協力により救急医療機関（休日当番医、夜間急病センター）を設置しています。

休日当番医

診療時間 土曜日 午後1時～6時
日曜日、祝日 午前9時～午後6時
※毎月の当番医は、広報いわみざわ折り込みのいきいきカレンダーまたは市ホームページで確認してください。



ID: 2749

夜間急病センター（10西3） ☎ 25-3000

診療科目 内科、小児科
診療日 12月31日から1月3日までを除く毎日
診療時間 午後6時～午前0時

救急医療の対応内容

救急医療機関は、対応する医療従事者が少なく、診療内容も通常とは異なり、医療費も割高です。

内容	医療機関 (通常の診療時間)	救急医療機関
検査・処置	症状に応じた検査・処置をする	詳しい検査はできず、応急処置が中心
診断	医師が詳しい診断・指導を行う	診断が確定しない場合がある
薬	症状の改善に必要な日数分を処方	平日の通常診療が始まるまでの日数分のみ処方
費用	通常料金	割増料金

救急医療の適正な利用を！

緊急性の低い軽症患者が救急医療機関を受診する「コンビニ受診」が問題となっています。

コンビニ受診が増えると、本来、救急外来で診るべき重症患者への対応や入院患者の急変対応が困難になります。軽症の場合は、まず市販薬

不適正な利用の例



を服用するなど様子を見て、なるべくかかりつけ医の診療時間内に受診しましょう。しかし、容体が悪化するなど緊急性がある場合は、迷わず救急医療機関を受診してください。

救急車の適正な利用を！

全国的に救急車の出動件数・搬送人員数は増加傾向にあり、救急隊の現場までの到着時間も遅くなっています。また、救急車で搬送された人の約半数が入院を必要としない軽症という現状もあります。

地域の限られた救急車を有効に活用し、緊急性の高い重症患者にできるだけ早く救急車が到着できるようにするため、救急車の適正な利用が必要です。

普段からできること

かかりつけ医を持つ

かかりつけ医があると、健康状態や生活環境などを把握してもらえ、適切な治療やアドバイスを受けることができます。病気の予防、早期発見、早期治療にもつながるほか、必要に応じて専門医や適切な医療機関を紹介してくれます。

市販薬を常備する

最近の市販薬は風邪や怪我などのさまざまな症状に対応するものが増えてきています。薬局やドラッグストアに薬剤師がいる場合は、相談して購入すると安心です。

相談窓口やアプリを利用する

市内の救急医療機関のほかに、こ



救急車が必要か判断に迷ったときのために、必要な対応や受診手段の検索ができる全国版救急受診アプリ「Q助」を事前にダウンロードしておくことで安心です。



【夜間にこどもの具合が悪くなったときは】

北海道小児救急電話相談

夜間、こどもの急な病気やけがなどの際、専任の看護師や医師から症状に応じた適切な助言を電話で受けられます。

☎ 011-232-1599 または #8000

受付時間 午後7時～翌朝午前8時

【外出先で医療機関が分からないときは】

北海道救急医療・広域災害情報システム

道内の医療機関情報をインターネットで調べられるほか、電話での案内サービスもあります。なお、医療相談は行っていません。

☎ 0120-20-8699 または 011-221-8699 (いずれも24時間対応)



どもの急な病気などの際に利用できる相談窓口や医療機関を調べられるサービスがあります。

普段から病院のかかり方などを見直し、急な病気の際には、救急医療を適正に利用しましょう



地域医療体制を支えるための岩見沢市医師会の取り組み

【岩見沢市医師会附属看護高等専修学校】

准看護師を養成する2年制の看護学校を運営しています。これまで2,444人が卒業し、市内医療機関などに勤め地域医療を支えています。現在も市内医療機関に勤務する准看護師の約半数がこの学校の卒業生です。

問合先 岩見沢市医師会附属看護高等専修学校（10西3） ☎ 22-5453

【こんな特徴があります】

- 中学卒業から受験できる
- 授業は午後1時30分からのので、働きながら通うことができる（実習期間中は午前8時30分から午後4時15分まで実習）
- 幅広い年代の生徒がいる

【試験の選考方法が変わりました】

令和7年度の入学試験から、国語、数学の学科試験を行わず、作文試験と面接試験のみとしました。中学校や高校、大学などを卒業後しばらくしてから准看護師になりたいと思った方でも、受験しやすくなりました。

【奨学金などで授業料などをサポート】

それぞれの要件など、詳しくはお問い合わせください。

- 岩見沢市医師会修学資金
- 北海道看護職員養成修学資金
- 北海道高等学校奨学会奨学金
- 岩見沢市ひとり親家庭等高等職業訓練促進給付金（こども未来課こども福祉係 ☎ 35-4118）

岩見沢市医師会附属看護高等専修学校ホームページ



准看護師って？

医師や看護師の指示を受けて患者の看護や診療の補助を行う医療従事者です。中学卒業以上の方が専門の養成所に進学することで、最短2年で資格が取得できます。



令和8年度第二次入学試験は、16ページや岩見沢市医師会附属看護高等専修学校ホームページをご覧ください